



結ぶ

mu
su
bu

徳島東部
12市町村

Vol.7

歴史のヒント
板野の街道に想いをはせて[板野町]

定住自立圏取組情報・共生ビジョン連携事業紹介

市町村特集
町制施行60周年
これからも「元気がキラリ咲き誇る」町に
4つの魅力でシティプロモーション

神山町 徳島市

ブランドのチカラ
ししゃもねこ社[北島町]
前松堂[勝浦町]
アンシャトン[上板町]

人を結ぶ
柳瀬 武志さん[上勝町]

クイズで商品ゲット

徳島東部 12市町村 結ぶ Vol.7
2015年12月発行 発行 徳島東部地域定住自立圏推進協議会事務局 〒770-8571 徳島県徳島市幸町2-5 徳島市企画政策局企画政策課内 ☎088-621-5085 編集・印刷 太陽高速印刷 有株式会社



人を結ぶ

「やいたか」会長
「かみかつ棚田のめぐみ活用会議」会長(上勝町)

柳瀬 武志さん

棚田ならではの魅力を活かして

Qお生まれは・・・?

上勝町生まれです。26歳でUターンし、JAでゆこうを搾る加工場の工場長等として勤めた後、林業家になり、現在は中央森林組合の職員として働いています。市宇名の副総代として、また平成26年度からは上勝町消防団本団の副団長を務めています。

Q上勝といえば、棚田が有名ですね

5月に田んぼに水を張った時、朝日、夕日が反射して映るでしょ、あれがなんとも言えんね。目に焼き付いて。家の前が棚田で、子どもの頃から手伝ってきました。それが高校2年生の時に父親が他界し、高冷地野菜を育てる畑に変えたんですが、連作で出来んようになって。上勝へもって来てから、やはり昔からの自然を守らないかん、と田んぼをまた始めたんです。地域で引っぱってきた、そのまま飲める綺麗な水を田んぼに使って育てています。

Q棚田を活かした「やいたか」の活動について教えてください

平成23年度に上勝町で開催した第17回全国棚田(千枚田)サミットをきっかけとして、八重地(やえじ)、市宇(いちう)、田野々(たのの)、椋原(かしはら)の4つの棚田地区の活動メンバーで平成24年5月に結成しました。「やいたか」は、それぞれの地区の頭文字を取って命名したものです。「棚田ウェディング」や「棚田ノルディックウォーク」、

「棚田ライトアップ」など、4地区が連携した保全・活性化活動を積極的に行っています。また平成26年度には、やいたかの呼びかけで新たに「かみかつ棚田のめぐみ活用会議」(やいたか、徳島銀行、上勝町で構成)を組織化しました。

Q2015年10月には市宇でライトアップイベントが行われましたね

第1回目(2014年)は八重地で開催し、八にちなんで888本のろうそくの灯りでライトアップしました。きっかけは「田んぼの中でろうそくを灯したらどうだろう!」と上勝を訪れた女子大生が言ったことからと聞いています。今年は市宇で開催し、市にちなんで1111本の灯りで飾りました。といっても実際にこっしやえたんは2015本になりました。というのも棚田までの町道にもライトアップしたので。準備を重ねてきて最後に、あの光を見たとき感動しました。大学生、ボランティア、みんな涙、涙でした。でもこれからまた始まり。振り向かない。前進あるのみです。

Q生まれ変わったらどこに住みたいですか?

ここ上勝です。川であれば鮎やあめご、山なら猪に鹿、それからもちろん棚田に、おいしい水、景観、空気、星すべてにおいてええなと思います。「自然と自分」という形で、生まれ育ったこの地に誇りを持っています。



パーマカルチャーカフェ 体験・開催のお知らせ
2015年12月23日(水)、
2016年1月24日(日)、2月21日(日)
10時~15時
場所/八重地茅葺き民家

茅葺き民家での囲炉裏体験や昔ながらの道具を使うなど、地域にある素材を使うことや食することを体験します。またパーマカルチャーの勉強会なども随時開催します

●体験料/1回 500円(小学生300円、6歳以下無料)※保険料、材料費込み
●その他
マイカップ、マイトレイ、マイ箸をご持参ください
●お問い合わせ・お申し込み/かみかつ里山倶楽部 ☎0885-44-6680

次号予告
平成28年3月発行予定

- 市町村特集 小松島市・松茂町
- 定住自立圏取組情報
- ブランドのチカラ プレゼントが当たるクイズもあります。

冊子の設置場所
12市町村役場/徳島市立図書館/小松島みなと交流センターkocolo/道の駅「ひなの里かつら」/いっきゅう茶屋/佐那の里/JR石井駅/神山温泉/松茂町歴史民族資料館/北島町立図書館/創世ホール/藍住町立図書館/あせび温泉/技の館 ほか

「徳島東部地域定住自立圏」とは? 「結ぶ」って?
徳島市を中心として近隣の11市町村と連携して「徳島東部地域定住自立圏」を形成し、12市町村が役割分担しながら連携・協力することで圏域全体の発展に向けたさまざまな取り組みを展開しています。本誌は徳島東部12市町村の住民の皆さんが「徳島東部地域定住自立圏」の魅力を知り、取り組みに参加することにより、市町村の枠組みを越えて、お互いが交流し結びつきを深める「結ぶ」ことを目的として発行しています。

【参加市町村】
徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町

平成23年度から実施されたこの事業では、電動アシスト自転車や電動バイクのレンタルを行い、散策モジュールを提案して観光客など徳島市を訪れた人に、小回りがきいて環境にもやさしいレンタル車両で周遊してもらおうというものです。

ご存知？電動スクーター等 観光レンタル事業

徳島市内
4つの宿泊施設
でもご利用できます。



ご予約とお問い合わせは
ぐるどくサイクル
(電動バイク等観光レンタル事業推進協議会)
徳島市元町1-24アミコ専門店街
地下1階 徳島市観光ステーション内
☎088-655-6133
●URL: <http://gurudoku.info/>
●E-mail: cycle@gurudoku.info
●営業日/1月1日を除く全日
●営業時間/9:00~19:30
●返却時間/19:30まで
※未成年者のご利用については保護者の同伴が必要になります。

《観光開発 観光誘致事業》



この事業は、病児保育事業(乳児から小学校就学までのお子さんが病中や病気の回復期にあつて、かつ保護者が就労しているなどの理由により、家庭での保育ができないときに、お子さんを一時的に預かる事業)を連携市町村間で広域利用する事業です。

《病児・病後児保育広域利用推進事業》 連携市町村は11に拡充

徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町

核家族化や就労形態の変化、女性の社会参加の拡大などにより多様化する保育ニーズに、圏域内における自治体の枠を越えて効果的に対応するため、平成24年4月から連携2市2町1村でスタートし、平成26年4月からは2市8町1村に拡大。実施施設も6施設から、現在の9施設となり平成27年度には、5,000人を超える利用が見込まれています。

詳しくは、お住いの市町村までお問い合わせいただくか連携市町村のホームページをご確認ください。



▲番所跡前には昔の石畳がそのまま残り、古の街道の面影を伝えている



▲讃岐街道の看板。旧道(右の広い道)は、「四国のみち」になっており、格好のハイキングコースとなっている。左の山道が元々の街道と思われる

阿讃山脈を背に、前面には徳島平野が開ける温暖な地、板野は古代より遺跡の宝庫です。また当時から交通の要衝でした。奈良律令時代、都と結ぶ南海道(官道)が整備され、板野町大寺には郡頭駅があり、阿波国府へと繋がっていました。また郡頭駅からは大坂越えをして讃岐国府へと延び、役人が往来していました。

この大坂越えは1855年、源義経が屋島へ奇襲攻撃をかけるため通った道として伝えられています。江戸時代には、讃岐との国境に位置したことから大坂口御番所が設けられ、蜂須賀家が支配する徳島藩の重要な関所として正保元年(1644年)から明治5年(1872年)までの約230年間、旅人の取締りと諸産物の移出入を監視する役割を果たしてきました。

通行手形には魚切手もあり、讃岐引田の漁港から鯛、鯖、鱈などが峠を越えて入ってきていたことが分かります。引田や北灘の魚はおい

しいと定評があり、徳島城下へもたらされました。

代々、番所役人を勤めた村瀬家文書によると、四国遍路のために大坂越えをした人が多いことが分かります。峠には豆茶屋が立ち、東谷地区には湯茶を接待する清水庵があったそうです。現代は板野町に板野ICが設置され、街道には産直市があります。

お遍路さんの出身は、四国内は勿論、対岸の山陽、遠くは九州、奥州からも訪れていました。

人が生活するところには必ず道が通じます。その道を使って人や物資、文化の交流があり、その土地特有の文化が育まれてきています。道は時代と共に変化し進化します。また交通手段も高速化していきます。

しかし、昔からある街道に想いをさせて歩いてみるのは、これからの徳島を考えていく上でいい刺激になるでしょう。そして四国遍路の世界遺産登録を引き寄せましょう。



大坂口御番所跡旧村瀬館
板野郡板野町大坂字ハ171番地1
開館/日曜のみ
(※12月28日~1月3日休)
午前10時~午後4時
入館料/無料
問 板野町文化の館
☎ 088-672-5888

香川県境にあり、御番所として人馬や物資の出入りを監視してきました。当時の様子を伝える往来手形や踏み絵石・警備道具のレプリカなどが展示されています。板野町指定文化財。



▲軒丸瓦には、蜂須賀の家紋である卍模様が使われています



▲屋敷内、表の間



▲当時の往来手形など



▲「大坂越」の碑。板野町大寺に建つ



◀御番所の説明板

歴史のヒント
板野町
Hint of history

板野の街道に想いをはせて



今回、お話の元となる原稿をご提供いただいた
竹本弘子さん
板野町文化財保護審議会 会長

musubu NEWS TOPICS 徳島東部地域定住自立圏 共生ビジョン連携事業紹介

《特産品ブランド化・地産地消推進事業》

小松島市

水産品等販売促進事業

毎月第4土曜に開催している「みなと海鮮朝市」や年一回開催している「うまいもん祭り&みなと海鮮朝市」では今年で早や11回目となりました。本市の自然豊かな水産資源を活かした農林水産物・加工品の販売、イベントコーナーでは「大漁せり市」「竹ちり市」「竹ちり市」など早食い競争「など」を開催し多くの人で賑わいます。



つまいもん祭り&みなと海鮮朝市

勝浦町

貯蔵みかん等ブランド化事業

勝浦町はみかんの栽培が盛んで、ハウスみかんも早生みかんも貯蔵みかんも1年を通じて出荷しています。そんな中でも主に12月に収穫して翌年2~3月に出荷される貯蔵みかんを特に支援しています。

みかんの生産から貯蔵管理、これらの技術や販売促進を総合的に支援し、農家所得の向上を図り本町農業の活性化を目的として平成26年に「勝浦みかん生産販売促進協議会」を設立しました。協議会では①統出荷箱(ちよぞう)の推進②トップブランドの育成③労働力確保等の産地内連携④消費地との連携強化を主な事業としています。



勝浦町のキャラクター「ちよぞう嬢ちゃん」をあしらったみかん箱

《地球温暖化対策推進事業》

藍住町

街灯のLED化による省エネ対策事業

町内2300基の防犯灯をLED照明に交換し、維持コストの削減と省エネルギー化を図っています。1灯当たり約4割の電気料金削減となります。



徳島市・松茂町・北島町・上板町

住宅用太陽光発電システム設置補助事業

太陽光発電は自然エネルギーである太陽光によって発電するため温暖化の原因とされる二酸化炭素を排出しません。各市町では、住宅用太陽光発電システムの設置費用を補助し、温暖化防止に取り組んでいます。



平成27年度も実施、継続募集中

各市町では平成27年度も申請を受け付けていますが、受け付けには募集件数に限りがあります。必ず着工前にお問い合わせください。

※各市町により募集要件(補助金額・対象者・申請期間など)が異なりますので、ご注意ください。

お問い合わせ

徳島市環境保全課 ☎088-621-5213 | 松茂町産業環境課 ☎088-699-8714
北島町生活産業課 ☎088-698-9806 | 上板町環境保全課 ☎088-694-6813

とくしまIPPIN店2015発行

徳島市が推進している「健やか新鮮・徳島ブランド育成産品」21品目をはじめ、圏域11市町村の野菜や果物を使った飲食メニューを開発し認定を受けた飲食店のことです。今年発行分では洋食・和食を始め種類やカフェスイーツ店など多岐にわたり200店舗を越えて飲食店が掲載されています。2015年度も引き続き募集中ですので、ぜひご応募ください。



詳しくは、徳島市農林水産課 電話088-621-5246

4つの戦略プロジェクト

ここにしかない“モノ”と“まち”の物語

- 水都**
 - 水都とくしま創造プロジェクト
 - 水都シンボルエリアの整備
 - 水辺空間のにぎわい創出
 - LEDが魅せるまち・とくしまの推進
 - 水と暮らす文化の醸成
- 歴史**
 - まちの歴史体験交流プロジェクト
 - 地域資源を巡るまち歩き推進
 - 伝統文化体験プログラムの推進
 - まちなか回遊環境の整備
 - 城下町文化の再認識
- 阿波おどり**
 - 阿波おどり全国展開プロジェクト
 - 全国的なPRによる交流・ファン拡大
 - 来訪者へのサービス拡充
 - 物語性がある資源としての活用
 - 阿波おどり文化の醸成
- 特産品**
 - ええもんパワーアッププロジェクト
 - すぐれた特産品の全国展開
 - 地産地消の推進
 - ご当地グルメを活用した地域おこし
 - 徳島市ならではの食文化の研究

徳島市4つの魅力で シテイプロモーション

シテイプロモーションは地域再生、観光振興、住民協働など様々な概念が含まれ、地域の売り込みや知名度の向上を図ることにあります。また、従来の自治体にはない「営業」という要素が重要となります。徳島市では将来像「心おどる水都とくしま」の実現に向けて、ここにしかない物語性のある都市イメージとモノの開発を行い、その魅力を全国へ発信していくことで、人々の目的や場面に応じて、本市が優先的に選択される状態を生み出すことを目標としています。

ここにしかない魅力づくり

上の図にあるように「水都、歴史、阿波おどり、特産品」の4つのキーワードに基づいて事業を展開しています。「水都」は水辺空間を整備し水都とくしまのイメージを全国に定着させ、本市の「顔」となる集客交流エリアとして発展させます。「歴史」は城下町として

ええもん。パワーアッププロジェクト

4つ目の「特産品」では豊かな自然に育まれた徳島の食材や、地域固有の特産品を生かした、すぐれた商品の開発、そして全国への販路拡大を支援し徳島ならではの食文化の醸成を図ります。

ご当地グルメづくり

平成25年度に募集選定した「心おどるとくしまグルメレシピ」では徳島市の豊富な食材ならではの新鮮さや特徴を生かした、料理やスイーツを開発し新しい食文化を創出してきました。

「ええもん」に触れる場づくり

平成24年に徳島市観光ステーション「とくしま旅づくりネット」を徳島駅前アミコビル地下1階に整備し積極的な観光情報の提供や徳島の特産品に触れる機会の拡充を図っており、来訪者の買い物需要を満たしています。



優れた特産品の全国展開

とくしま豆天玉.COM

地域の味でまちおこし

B-1グランプリ初出店

運営団体「とくしま豆天玉連」は徳島商工会議所青年部・行政・お好み焼き店主・企業・市民が一体となり、徳島市に古くから伝わる「豆天玉焼き」を徳島市独自の食文化の継承とまちおこし活動に繋げることを目的に設立されました。県内の各種イベントなどに出店し「いらっしやい豆〜」を掛け声に奮闘しています。

今年10月には十和田市（青森県）で開催されたB-1グランプリに初出店し豆天玉と徳島市をPRしてきました。

食材・食文化の活用促進

「とくしま食材フェア」では徳島産の農水産物の良さと魅力をPRし、市民自身が徳島の食材のファンとなり全国に向けた説得力や発信力アップを強化しています。



▲神山さくら街道、住民主体で地域を盛り上げています



▲徳島駅から車で40分の距離にある神山温泉は今も昔も変わらず憩いの場所となっています

昭和30年3月31日阿野村、鬼籠野村、神領村、下分上山村、上分上山村の5村が合併し、今年で町制施行60周年を迎えました。町は、徳島県の山間に位置し、過疎と少子高齢化の著しい町ですが、平成16年に町内全域に光ファイバー網を整備し、この好条件のもと、過疎の山里にはIT系ベンチャー企業が相次いでサテライトオフィスを開いています。

また、田舎暮らしを満喫しようと移住者も増え平成23年には神山町誕生以来初めて社会動態人口が増加に転じました。さらに新府能トンネルや養瀬トンネルの開通などの主要道路網の整備により、道幅も広

く徳島市から車で45分、石井町から車で30分の近さとなりました。同時にアートをきっかけにした交流促進、しだれ桜の植樹による地域資源の充実など、住民の手によるまちづくりが盛んに行われるようになってきました。

これからも町で生まれ住んでいることに自信と誇りを持ち、「元気がキラリ咲き誇る」神山町を目指し、地方創生の先駆けとなるよう、基幹産業である農業林業の振興を図るとともに、安全安心な町づくり、人口の減少に対応した定住対策など、町民の皆さんと協働してより良いまちづくりを推進していきます。

菜の花の里 江田集落

西森由さん

「どうで？この集落」と西森さん。昭和3年生まれとは思えないくらいシャキシャキと、まず聞いてこられた。「トンネルを抜けるとそこは雪国だった」如く、薄暗い杉林を抜けると初秋の眩しい陽光が集落全体を包み込んでいた。ここは菜の花の里として有名な江田集落。2000年に町に訪れた美大生の一言をきっかけに「集落に人を集め賑やかにするために菜の花を植え始めたんよ。この地区はみんな元気でまわりも良くて皆が協力してくれ」と西森さんは自慢する。今は60数名の小さな集落だが西森さんは次の世代へと橋渡し役として、「もうひと頑張り」を誓っている。

菜の花の見頃は例年3月中旬～4月中旬



▲平成27年10月18日、式典には来賓の方や被表彰者など約180人が集まりました

神山町制施行 60周年記念式典 盛大に

これからも「元気がキラリ咲き誇る」町に

素敵な人に… イイね。

江田集落と一緒に活動されているメンバーと西森さん(写真左から二人目)

クイズに答えて 「ブランドのチカラ」商品をゲット

正解者の中から抽選で12名様に、プレゼントが当たります。

問題 とくしま豆天玉連が初出店した
グルメフェスは○-1グランプリです。

※ヒントは4ページにあります。

応募方法

官製はがきに、①クイズの答え、②プレゼントの希望の商品名、③郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号、④本誌「結ぶ」に対する感想や要望を、ご記入の上〒770-8571 徳島市幸町2-5 徳島市企画政策課内「結ぶ」プレゼント係へ平成28年1月22日(金)(必着)までにお送りください。
(お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します)
【当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます】

編集雑記 Vol.7

ペンネーム
秋を満喫(松茂町)

松茂町の秋の一大イベント「町民運動会」。今年は記念すべき第50回大会で、さわやかな秋風の下、10月11日に開催されました。綱引き・まり入れ・リレーなど、選手も観客も熱が入り、「スポーツの秋」を満喫していました。

今は秋が深まり、日ごとに寒さが増しているように感じます。周囲を見わたすと、特産品「松茂美人」の収穫も終盤に差し掛かり、「食欲の秋!」が町内に溢れています。焼き芋、スイートポテト、大学芋・・・考えただけでお腹が空いてきました。(笑)

さつまいもに限らず様々なものが美味しくなるこの季節。少し食べ過ぎてしまった時は、「月見が丘浜公園」を訪れて飛行機を見上げながら、個人的に「スポーツの秋」を満喫してみたいかがでしょうか。

表紙の写真



とくしま豆天玉連inアクア・チッタフェスタ2015

今年で11回目をむかえる水辺のお祭り「アクア・チッタフェスタ2015」に11月21日(土)、22日(日)の2日間、とくしま豆天玉連の皆さんも出店しました。同フェスタは好天に恵まれ、楽しいブースやワークショップ、はたまた競合する他グルメ店との相乗効果もあり、徳島市のソウルフード「とくしま豆天玉焼き」も大盛況。豆天玉連では、まだまだ熱い有志を募集しています。参加資格は徳島を盛り上げたいという想いがあればオーケー。ぜひ素晴らしい仲間達と共に、楽しみながら「まちおこし」をしませんか。詳しくは、<http://mamentama.com>まで



Power of BRAND



▲和三盆の黒蜜を使った食パンと、おさつパン

▲和三盆の黒蜜を使った、かりんとドーナッツ(右)と黒蜜ラスク(左)

bakery Un chaton アンシャトン [上板町]

極上の味わい、和三盆の黒蜜を

「畑の広がる田舎に、朝早くからパンの匂いがして、お店に行けば焼きたてのパンが食べられる」。そんな日常の幸せを思い描き、58歳の時にお店をオープンした辰己万實さん。2015年11月で5周年を迎えました。店名のアンシャトン(フランス語で「仔猫」の意味。小さな可愛い店内には、パンやお菓子が豊富に並び、どれにしようか選ぶのも楽しみのひとつ。パリパリルティ-

ヤ、クランベリーフランス、生パナナを使った甘食など約40種類。なかでもお薦めなのが上板町産・和三盆の黒蜜を使った商品です。かりんとドーナッツ、黒蜜ラスク、おさつパン、そして食パン(ナルト金時入りと国産栗入りの2種類あり)。和三盆の黒蜜ならではの上品な甘さと風味が魅力です。食パンはふわとしたソフトな食感で、かつもちりとした贅沢な味わいです。



▲パンづくりは毎朝3時から。「バター、卵など、いい材料を使っています」。オーナーの辰己万實さん(中央)とスタッフの方達



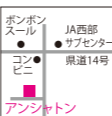
▲猫グッズも飾られている可愛い店内



かりんとドーナッツと黒蜜ラスク(5名様)

bakery Un chaton アンシャトン

●板野郡上板町七條字西元原42-3
●TEL088-694-5408
●日曜・月曜休 営業時間8時～18時



Power of BRAND

ブランドのチカラ



▲プレゼントの勝浦さぶれ

前松堂 [勝浦町]

長く愛されてきた老舗ならではの味わい

瓦葺きの和の佇まいが印象的な前松堂は、創業約120年。店の前にあるヒガンザクラは2月頃に咲き、早い時期から花見ができることでも有名です。「花見頃にはお茶とお菓子を無料で提供させて頂いています」と4代目の前田浩史さん。一級技能士の3代目と共に親子で店の味を守っています。人気のほたようかんは、2代目から続く味。「ほたようかんを知らない世代の方も、リ-

ピーターになって買いに来てくれています」。名物の羊かんも2代目から続く商品で、甘さ控えめであっさりとした味わい。そして4代目が考案したお菓子がサクサクとした食感の勝浦さぶれ。玄米入り、生姜入り、みかん入りの3種類あります。また、かりんと饅頭は、皮はカリッとして、黒糖の風味が漂い、中はふわとした、こし餡入り。お茶はもちろん珈琲にも合う香ばしさが魅力です。



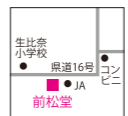
▲「今後、地元の良い材料を使ったお菓子を作っていきたい」と話す4代目の前田浩史さん。評判のかりんと饅頭と一緒に



勝浦さぶれ 1箱12個入り(2名様)

前松堂

●勝浦郡勝浦町沼江字西岡27-3
●TEL0885-42-3025
●年中無休 営業時間8時～19時



▲徳島のおみやげやネットショップで販売されているししゃもねグッズ。このほかにもいろいろ

でかかししゃもねこと川久保貴美子さん

ししゃもねこ社 [北島町]

脱力系癒しで大人気

服飾クリエイターの川久保貴美さんが、4年前に生み出した、ししゃもねこ。きっかけは猫と魚を合体させようとして描いたイラストでした。ツイッターでアップしたところ大反響に！フェルトで立体化すると「売って欲しい」と注文が続きました。すると全国各地で話題となり、「めちゃくちゃ忙しくなっちゃって(笑)、これはブランド化しないと、思いプロフィール等も作り、商品ラインナップ

も増やしていったんです」。カプセル玩具のメーカーから「ガチャガチャにしてみませんか?」とオファーも舞い込み、2014年4月に第一弾が登場。2015年11月には第4弾が出たばかり。徳島のおみやげとして2015年5月からはお菓子等にもなって、四国内の高速SAや徳島阿波おどり空港内店舗で販売されるなど人気キャラクターとしてぐんぐん成長中です。



▲プレゼントのししゃもねこマスコットぬいぐるみ



ししゃもねこマスコットぬいぐるみ1個(5名様)

ししゃもねこ社

●板野郡北島町中村
●TEL080-3162-2234
●<http://www.shishamoneko.com>
●メール cheto@way.ocn.ne.jp

※色はアトランダムに決めさせていただきます